

令和7年度 市内地下水等におけるPFAS（有機フッ素化合物）の調査結果

【調査日】 令和8年3月10日（火）

【調査地点】 市内の井戸（地下水）から10地点  
 ※昨年度とは異なる地点で調査（2地点を除く）

【調査項目】 PFAS の内、国による暫定目標値の定めがあるPFOS及びPFOAなら  
 びに要調査項目に位置付けられているPFHxS

【調査方法】

PFOS 及び PFOA : 令和2年環水大水発第2005281号付表1に掲げる方法

PFHxS : 環境基準健康項目専門委員会（第19回）資料3別紙6に掲げる方法

【調査結果】 PFOS 及び PFOA の合計値について、10地点全てで、暫定目標値の

50 ng / L を下回りました。

※PFHxS については国等で示される指針値や目標値はありません。

調査地点	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS・PFOA 合計値 (ng/L)	PFHxS (ng/L)
熊川①	5.2	6.7	11	0.5
熊川②	14	17	31	1.1
熊川③	8.4	8.2	16	0.8
福生①	4.6	6.6	11	0.7
福生②	6.1	4.7	10	0.7
福生③	6.3	5.5	11	3.2
志茂①	19	11	30	2.1
志茂②	0.4	0.6	1	ND
志茂③	10	7.4	17	2.8
加美平①	12	16	28	15

※本調査は「PFOS 及び PFOA の合計値」について、定量下限値を0.3ng/L、有効桁数2桁で処理しているため、合計値が必ずしも「PFOS」と「PFOA」の和と一致しません。

※ND：定量下限値未満